

ソルフェージュ Solfège

グレード表

やさしい

※右記の対象学年はあくまで目安です。

グレードⅠ Grade I

【対象: 小学1年生~3年生】

グレードⅡ Grade II

【対象: 小学2年生~5年生】

グレードⅢ Grade III

【対象: 小学3年生~6年生】

修了テスト

グレードⅣ Grade IV

グレードⅤ Grade V

グレードVI Grade VI

音高・音大受験レベル

修了テスト

応用 Special Grade

国内外の難関校受験レベル

むずかしい

カリキュラム 音楽院のソルフェージュクラスは、グレードⅠ~グレードVI応用クラスと習熟度別となっています。

グレードⅠ~Ⅲ

音の聞き取りや音符の書き方を、初步から指導します。

音楽経験は問いませんが、歌や楽器を並行して学習されることを推奨します。

| 目標 | |
|----|---|
| 歌う | ピアノの伴奏に合わせて表情豊かに歌う。 ピアノなどの助けがなくても、自分で正しく音程を取って歌う。 |
| 聴く | 単音の音あてからスタートし、徐々に音を増やして、修了時には4小節以上の旋律を聞き取る。 |
| | ピアノのテキストでも使用頻度の高い、三和音を中心に聴き取る。 和音の響き(長三・短三・属七・増三・減三)を判別する。 |
| 叩く | 基本的なリズムを理解し、視唱や聽音の課題に活かす。 |
| 書く | 音符や休符の書き方を覚え、楽譜が書けるようになる。 聽音の課題を聞きながら書き取れるようになる。 |

修了時には、以下のような課題が8割以上理解できることを目標としています。

[視唱]



[旋律聴音2]



[旋律聴音1]



[和音の聴き取り]



グレードⅢ 修了テスト

- ◆ グレードIVクラスを受講するには、グレードIIIの修了テストに合格する必要があります。
- ◆ 実際の修了テストでは、以下の課題が実施されます。
 - ・ 音読（提示された旋律の階名・リズムを正しく読み）、4~8小節程度の視唱
 - ・ 単旋律聴音、三声の和声聴音（密集・開離）、和音聴取

合格

グレードⅣ~VI

国内の音楽系高校・大学受験に対応できる内容です。

グレードIIIまでの内容に二声の複旋律聴音・和声聴音（四声密集・開離）、楽典が加わります。

※受験校により試験科目が異なりますので、音楽高校・大学受験を検討されている方は、進学希望校を音楽院へお知らせください。

| 目標 | |
|----|---|
| 歌う | 臨時記号や転調を含む、やや複雑な旋律を正しく歌う。 弾き歌いにもチャレンジ。 (受験生のピアノ習熟度により、実施しないこともあります) |
| 聴く | 単旋律～複旋律(二声)の、臨時記号・転調・連符やタイを伴うリズム等、やや複雑な旋律を書き取る。 |
| | 借用和音や非和声音を伴う、四声密集、四声開離の聴音。 |
| 楽典 | 記譜・音程・音階・調の関係・和音などの、基本的な楽典の力を身につける。 |

修了時には、以下のような課題が8割以上理解できることを目標としています。

[視唱]



[旋律聴音2]



[旋律聴音1]



[和声聴音・四声密集]



グレードVI 修了テスト

- ◆ 応用クラスを受講するには、グレードVIの修了テストに合格する必要があります。
- ◆ 実際の修了テストでは以下の課題が実施されます。
 - ・ 音読（広域で書かれた旋律の階名とリズムを正しく読み）、8~12小節程度の視唱
 - ・ 単旋律聴音、二声複旋律聴音、四声和音聴音（密集・開離）※修了テストに楽典は含まれません。

※グレードVIクラスを修了すると大阪音楽大学入学者選抜課題の音楽基礎科目「ソルフェージュ」が認定となり、本学受験時に当該科目の試験が免除となります。

合格

応用

国内外の難関校受験や、入学後の授業にも対応できる高度な内容です。

三声部以上の旋律聴音、無調の視唱・聴音課題、ハ音譜表を含む視唱、スコアリーディングなど、より理解を深める為の専門的なクラスです。